



能代市に到着！

最初は、能代市子ども館で、ロケットや宇宙についてのお話を子ども館の千羽さんからいただきました。日本のロケット開発の歴史や、能代市とロケットの関係などを学ぶことが出来ました。



実物大のロケットの部品の大きさは迫力満点。また、「はやぶさ」や「小惑星イトカワ」の模型を、子どもたちは興味をもって見ていました。この後、プラネタリウムを鑑賞しました。



2日間、お世話になる農家の方々との対面式
はじめに、齊藤能代市長から「この3日間を経験して心のどこかに『能代』の2文字が残ってくれれば嬉しい。大人になってまた能代を訪問してほしい。」との歓迎のあいさつがありました。



ご家族の方にあいさつをして、各家庭へ向かいます。
今回、豊島区から来た子どもたちは、各学校から2名ずつの計18名。子どもたち同士も初対面ということもあり、緊張ぎみでしたが、農家の方々の優しい笑顔に子どもたちの不安も少しとけたよう。



【各民泊先での様子】

こちらの家庭のお父さんは、伝統芸能「檜山舞（ひやままい）」を地域の小学校で教えているとのこと、その練習風景を見させてもらいました。踊っているのは、同い年の中学2年生の男の子でした。



200年以上前から大切に使われている「面」を見せていただきました。人間のお面も青年から老人まで様々。さらに笑っていたり怒っていたりや色々な表情があり、そのお面の意味やどんな舞の時に使うのかなどを教えていただくことが出来ました。



こちらは、青鬼の面。

200年前の日本人が使っていたため、現代の人たちの顔にはお面が小さいそうです。実際にお面を付けさせてもらいました。実際に付けることで、昔の人たちの体格（大人でも155cmあるかないかだったとのこと）を体感することが出来ました。

11月3日（日） 交流2日目



いよいよ、能代市の中学生との交流がスタート！

子ども館の前で、両地区の子どもたちがご対面。能代市側の代表生徒が歓迎のあいさつをしました。



こちらのご家庭は、日本海に沈む夕陽を見た後に、庭でバーベキューをしたそうです（暗くなったので、場所を移して家の中へ移動）。地元の方も感動するくらいの真っ赤に染まった美しい夕陽を見られたそうです。これもまた、貴重な体験の一つです。

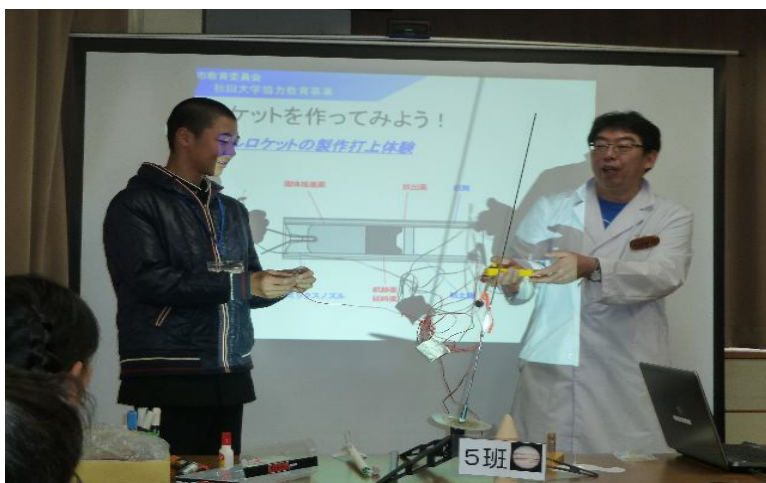


各グループに分かれて自己紹介。部活動や将来の夢、好きな有名人などを発表し合いました。同じ部活動で盛り上がりたり、都会の学校は、練習する場所の関係から野球部がないところもあると聞いて驚いたり、話が弾みました。



早速ロケットづくりに挑戦！

能代市の子どもたちは、みんな小学校の頃に一度子ども館を訪れてロケット作りは経験済み。豊島区の子どもたちが、分からないところなどは、能代市の子たちが教えてあげながら、思い思いのロケットを完成させました。



ロケットを作りながら、その仕組みなどの映像を見たり、実験をしたりしながら学ぶことが出来ました。

こちらは、火薬の着火の実験の様子。

実際に子どもたちのロケットにも、火薬を使った点火装置の「イグナイター」が取り付けられ、仕組みは本物のロケットと同じ。



いよいよ、ロケット打ち上げ！
グループ対抗で、着地点の正確さを競いました。
発射台に自分の作ったロケットを設置、みんな真剣な表情です。



まわりに危険がないかを確認し、カウントダウンのかけ声とともに、発射ボタンを押します。



大きな音とともに、上空100メートルほどまで一気に飛んで行きます。その迫力にみんなびっくり！
子どもたち全員のロケットが無事に打ち上がりました。



昼食後、各班ごとに能代市内の散策に出発！
昼食を食べながら、地図を見てどこのお店に行くかを相談していた子どもたち。豊島区の子どもたちは、タベ泊まった家の方からお薦めのお店やお土産の情報なども教えてもらっていました。



市内のお土産屋さんにて
能代の子どもたちから勧められた美味しいお菓子や名物を、豊島区の子どもたちは家へのお土産として購入していました。



こちらは、秤（はかり）屋さん。
こちらのお店では、訪れた子どもたちに、秋田杉で出来たコースターをプレゼントしてくれました。杉の良い香りが広がりました。
コースターをもってポーズ！



こちらのお店は明治元年創業の老舗店。
50キログラムの重さの秤を持ち上げようとはしますが、なかなか持ち上がりません。



能代市子どもたちとはここで別れ。
能代市子どもたちに見送られ、豊島区子どもたちは次の体験活動場所へ出発！

【子どもたちの感想より】

- ・違う学校の人と一緒に民泊することは初めてだし、知らない人と話す事があまり得意ではないので、とても不安だった。でも、受け入れ先の皆さんや班のメンバーが話しかけてくれたおかげで3日間楽しい時間を過ごす事が出来た。今回活動して秋田のことを知る事が出来た。また機会があれば秋田に行きたい。
- ・今回の秋田での体験では民泊が印象に残った。1日目は、暗い中ランプで手元を照らしながらのバーベキューだった。また、日の入りや輝く星を見に行った。
- ・東京ではなかなか出来ない事が出来て良い経験になった。東京ではあまり見られない自然を感じられた。空もきれいで夜はたくさんの星を見られたことが印象に残った。能代市の中学生の皆さんはとても積極的に話がしやすく、すぐに仲良くなった。たくさんの事を学べて良かった。
- ・知らない地域だった能代は、人々が優しく自然がいっぱいで食べ物美味しいという事が分かり、とても貴重な体験になった。
- ・この2泊3日は私にとって、かけがえのないものになった。また秋田に来たい。
- ・今回の体験を通して、僕は東京と秋田の違いをたくさん知った。東京は夜も明るいけれど、秋田は真っ暗で驚いた。秋田は夜暗い分星が良く見えて、体験したプラネタリウムを思い出した。
- ・秋田に行ったのは初めてで、分からないことだらけでとても不安だったが、秋田に着くと空気が美味しく、緑がとてもきれいで東京とは違うと思った。農家の方々や地域の方々皆親切でご飯がとても美味しかった。でも、私が一番心に残ったことは、やはり能代の中学生、豊島区の中学生と仲良くなれたことだ。最初は不安でいっぱいだったけど、最後には「また来たい」と思った。私の一生の思い出になった。
- ・今回参加出来て本当に良かった。正直、こんなにも楽しい思い出が出来るとは思っていなかった。それに、話したこともない人と仲良くできるか、ホームステイ先の人たちと楽しく生活できるかなど不安な事はたくさんあった。けれど、対面式で家族の人たちに会った時、すごく優しくなおばあちゃんの顔を見てほっとした。8人家族と聞いてびっくりした。とても温かい家庭だった。何より食事が美味しかった。本当に空気がきれいで、色々なものが美味しい能代にずっと居たいぐらいだった。また絶対能代に来たい。
- ・秋田はとても寒くて驚いた。家の人がとても優しくかったので、3日間楽しく過ごすことができた。能代の中学生との交流では、能代の事をたくさん教えてもらった。
- ・この秋田での体験を終えて、一番心に残った事は民泊だった。家のおじいちゃん、おばあちゃんが美味しいご飯を作ってくれたり、昔の話をしてくださったりした。とても面白かった。